

2024年度 保護者アンケート結果

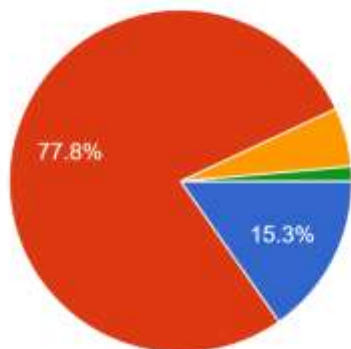
3年生保護者

5年生保護者

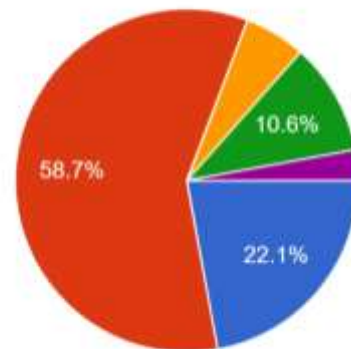
- A. よくあてはまる
- B. だいたいあてはまる
- C. わからない
- D. あまりあてはまらない
- E. あてはまらない

1 子どもは、学校の学習を理解している

72件の回答

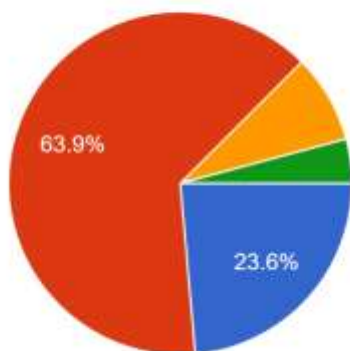


104件の回答

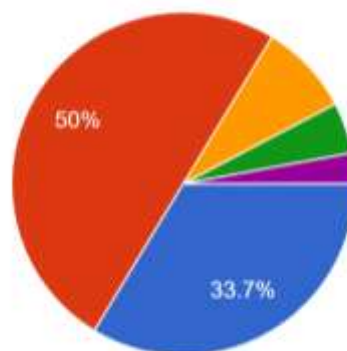


2 子どもは、意欲的に授業に参加している

72件の回答

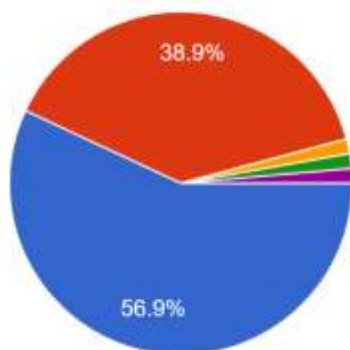


104件の回答

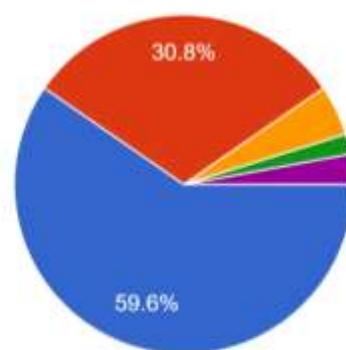


3 子どもは、行事などの体験を通して学びを深めている

72件の回答



104件の回答

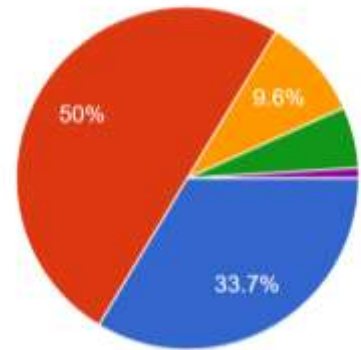
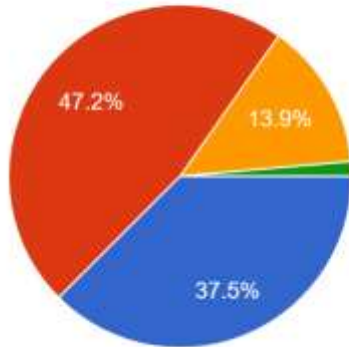


- A. よくあてはまる
- B. だいたいあてはまる
- C. わからない
- D. あまりあてはまらない
- E. あてはまらない

4 学校は、毎日の授業の充実に取り組んでいる

72件の回答

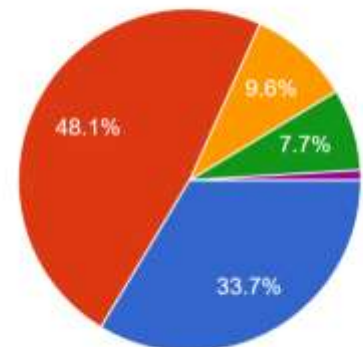
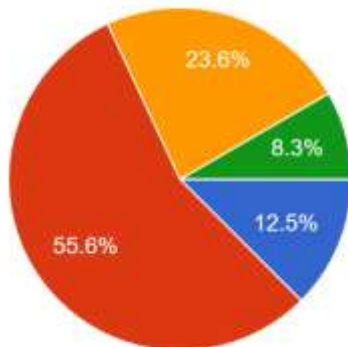
104件の回答



5 子どもは、家庭や地域で進んであいさつしている

72件の回答

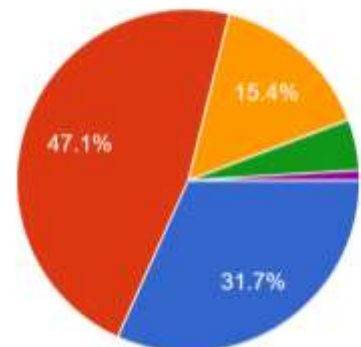
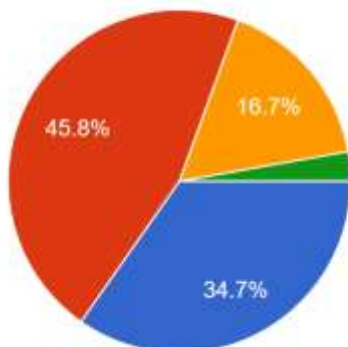
104件の回答



6 学校は、子どもの安全や防犯に取り組んでいる

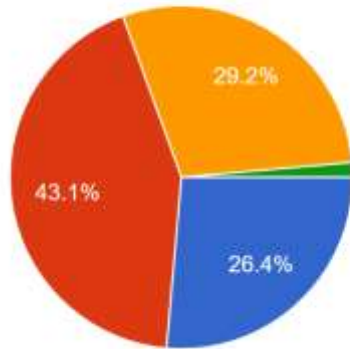
72件の回答

104件の回答

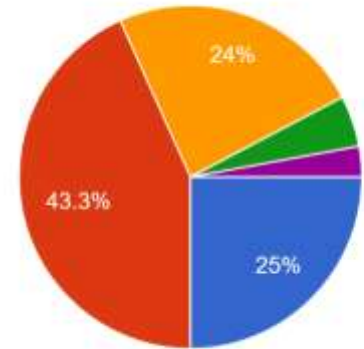


7 学校は、保護者が相談できる体制を整えている

72件の回答



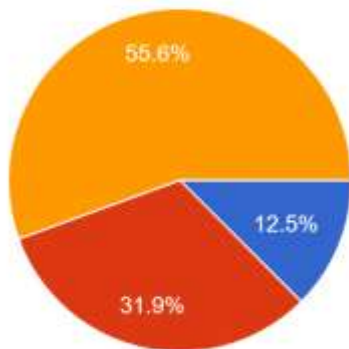
104件の回答



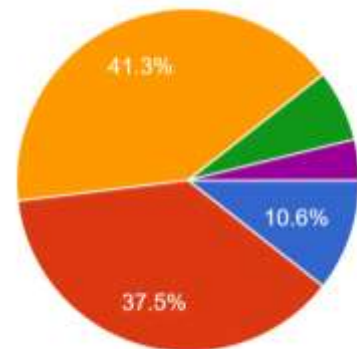
- A. よくあてはまる
- B. だいたいあてはまる
- C. わからない
- D. あまりあてはまらない
- E. あてはまらない

8 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる

72件の回答



104件の回答



2024年度 学校評価アンケート 保護者用考察

1～3学習理解、授業への参加、行事等体験について、3項目全てにおいて、AB評価が合わせて80%以上の評価であり、概ね保護者の目に学習到達度が伝わっている。しかし、約20%の保護者がそうではないと感じている設問もあり、児童の様子からだけでは、学校の授業の実態が見えない状況が伺える。そのため、保護者にも児童の頑張りや活動が伝わる場面を発信していく方法を模索していくことが大切である。

6～8安全・防犯、相談体制、いじめのない学校づくりに関わる3項目においては、C評価「わからない」が他項目に比べ顕著に多くなっている。それは、日頃の教職員の児童に対する関わりや生活指導、児童支援の取り組み、スクールカウンセラーへの相談方法などが、周知不足だと感じられる。そのため、相談ができる体制などをホームページや学校だよりなどで周知していくことが必要だと考える。さらに、保護者からの相談には寄り添って丁寧な対応を常に心がけることを学校全体で理解し、進めていく必要がある。

児童が「いじめをしてはいけないとわかっている」へのAB回答が100%近いのに対し、保護者の半数ほどが「学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる」について「わからない」と回答しているのは非常に課題であると考え。学校としては、いじめに関しては未然防止・早期解決に全力をあげて取り組んでおり、保護者にも「いじめを許さない」家庭教育を進めてほしい。「わからない」回答が多かった設問については、問う内容について改善の余地があるともいえる。